

「Unit 4」 To Our Future Generations ～ HIBIZAKI SURVIVAL PROJECT 外国人にも救いの手を！

本単元で育成する資質・能力

(教科・学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和2年9月18日 14:05～14:55
- 2 学年 第3学年2組 Bコース (男子12名 女子8名 合計20名)
- 3 場所 本館3F 3年2組教室
- 4 単元について

○ 教材観

本単元は、英文の避難訓練のお知らせ、防災に関する登場人物の対話、さらに被災地の流木で製作されたバイオリンと、その演奏リレーについてのエピソードから成る教材である。万一災害が起きたときには、その場にいる人が相互に助け合う必要があり、そこで英語が必要になることも十分に想像できる。その可能性のひとつとして、避難所がある。外国でも国によっては災害とは無縁で避難所がなく、どういう場所かもわからない外国人がいる。その人たちのために、尾道市の避難所のパンフレットを英語で作製する。今年度、本校では総合的な学習の時間に防災教育を行っており、そこで得た知識を活用し、避難所での過ごし方を含めたパンフレットを考えさせたい。なお、パンフレットには美術科で考案したピクトグラムを使用することとする。

本単元では、中学校学習指導要領外国語における「書くこと」の目標である「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」を指導することと位置づける。

○ 生徒観

本学級の生徒は、ひとつのクラスを習熟度別に分けた基礎コースの生徒である。アンケートに以下のように答えている。

	肯定的回答
・英語の勉強は好きだ。	58.8%
・英語の授業を楽しみにしている。	94.1%
・英語の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、読んだり話したり、コミュニケーションをとったりすることに役に立っていると思う。	88.2%
・英語の授業以外で英語を使ってみたいと思う。	64.7%
・英語の授業で、自分の考えや気持ちなどを英語で書くことができる。	52.9%

英語を苦手としていても、英語の授業を楽しみにしていたり、授業で学んだことを他に活かそうとしたり、とても意欲的な生徒が多い。半分くらいの生徒が書くことを不得意としている。

○ 指導観

指導に当たっては、英語に対して苦手意識があるので、1年生の文法の復習から入るようにしている。1年生の文法を復習しながら新出文法を学習することで、1年生に学習した基本的な英文でも事実や自分の考えが伝えられることを理解させたい。また、本単元では英作文をする前に日本語を簡単にすることに重点を置いて指導する。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	授業の展開の場面で (ミニホワイトボード等を使用して)	表現力・コミュニケーション能力			主体性
レベル1		(話す speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やり取り) ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		(話す tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やり取り) ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		(話す talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やり取り) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4	自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。				

6 単元目標

- 日本語が話せない人のために、避難所のパンフレットを英語で作ることができる (書くこと)

7 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れずに積極的に事実や自分の考え、気持ちなどを伝えようとしている。	① 避難所に関して読んだり調べたりしたことについて、事実や感じたことなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	① ゆっくり話されれば、社会的な問題について要点を捉えることができる。 ② 本文の内容を理解することができる。	① 「疑問視+to+動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。 ② 「It is … (for 人)+to+動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。

			③ 「want + (人) + to + 動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。
--	--	--	--

8 指導計画 (全12時間)

過程	次	学習内容 (時数)	観 点				評 価	
			関意	表現	理解	知理	評価規準	資質・能力 (評価方法)
課題の設定	1	外国の避難所の話を聞き、尾道の避難所のパンフレットに載せる情報を考える (1時間) 【本時1 / 1】	○		◎		ア①・ウ① (観察・ワークシート)	【主体性・コミュニケーション能力】 (ワークシート)
単元を貫く問い (探究課題の萌芽)								
日本語がわからない外国の人に 避難所での過ごし方を伝えるためにパンフレットを作ろう								
情報収集	2	「疑問視 + to + 動詞の原形」の形・意味・用法理解 (1時間)				○	エ① (ワークシート, テスト)	【表現力】 (ワークシート)
	3	「It is ... (for 人) + to + 動詞の原形」の形・意味・用法理解 (1時間)				○	エ② (ワークシート, テスト)	【表現力】 (ワークシート)
	4	「want + (人) + to + 動詞の原形」の形・意味・用法理解 (1時間)				○	エ③ (ワークシート, テスト)	【表現力】 (ワークシート)
整理・分析	5	本文内容理解 (4時間)			○		ウ② (観察・テスト)	【コミュニケーション能力・主体性】 (観察)
まとめ・創造・表現	6	避難所の過ごし方に必要な説明を整理し、原稿を作る (2時間)	○	◎			ア①・イ① (観察・ワークシート)	【コミュニケーション能力・表現力】 (観察)

実行・振り返り	7	パンフレットを作製する (2時間)	○	◎		ア①・イ① (観察・ワークシート)	【コミュニケーション能力・表現力】(観察)
---------	---	----------------------	---	---	--	-------------------	-----------------------

単元を貫く問いの終結

- ・パンフレットを作製し、見て理解できるようにする。
- ・美術科で考えたピクトグラムを使用することで、理解しやすいようにする。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○パンフレットに必要なことを書きだすことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・間違いを恐れずに積極的に事実や自分の考え、気持ちなどを伝えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・ALTのプレゼンを聞いて、外国の避難所の情報について理解している。【理解】

(3) 準備物

- ・パソコン ・テレビ ・ワークシート ・ホワイトボード ・ホワイトボード用マーカー
- ・ふせん

(4) 学習の流れ (1時間目/全12時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 既習事項の確認。[3分]		
○あいさつ	◇英語の学習を始める雰囲気を作る。	
2 本時の学習課題を設定する。[10分]		
○学習課題の確認	◇ALTのプレゼンを理解しているか確認し、	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題</p> <p>日本語がわからない外国の人に 避難所での過ごし方を伝えるためにパンフレットを作ろう</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT:</p> <p>Hello. I'm going to tell you about Evacuation Shelters.</p> <p>In South Africa, we usually don't have earthquakes, typhoons or floods. Because South Africa is very dry, we often have fires. We practice fire drills at school and at work. I asked some of the other ALTs what they do in their countries.</p> <p>Trinidad and Tobago often have floods that are very dangerous. Some of the houses close to the sea are built on stilts to protect them from the water. Here are more examples of houses built on stilts.</p> <p>Singapore also gets floods sometimes. They have barriers that can quickly be moved to protect buildings and stores from flood damage.</p> </div>		

単元を貫く問い

導入の工夫

Guam gets typhoons often, so they are usually prepared. They have a pdf document where you can find information in English on how to prepare for a typhoon. They also have evacuation shelters where people can wait for typhoon to pass.

New Zealand has earthquakes, landslides and volcanoes. They have a website with useful information in English to help prepare you for an emergency. They have big evacuation shelters to help keep you safe.

Australia, like South Africa is very dry. They had really big fires in January this year(2020). It was very dangerous to go outside or stay in your house. They have a pdf document where you can find information in English on how to prepare for bush fires. They also have evacuation shelters.

I don't know a lot about evacuation shelters in Onomichi. Can you please tell me more about it? Let's make a pamphlet using easy English to help tourists and people living in Onomichi to learn more about evacuation shelters.

3 本時のねらいを確認する。[2分]

○ねらいの確認

ねらい

パンフレットに必要なことを書きだすことができる。

4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[20分]

○グループに分かれて、パンフレットに載せる情報を考える

◇ブレインストーミングをするため、友達の意見を否定しないことを確認する
◆避難所での過ごし方を説明するために必要な内容を考えさせる

[ア①・ウ①]
(観察・ワークシート)

★主体性・コミュニケーション能力
【ワークシート】

5 課題解決について発表をする。[5分]

○グループの意見を発表する

◇出し合った意見をホワイトボードにまとめ、発表させる

予測される生徒の考え

A評価 避難所がどういう場所なのかという説明が必要だ

ふとんで寝なければならない など文化の違いを意識した具体的な提案

B評価 表紙・説明・など あまり具体的でない提案

6 学習のまとめをする。[5分]		
○提案をまとめる	◇グルーピングをして生徒の意見をまとめ、提案を整理する	
7 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]		
○振り返りを書く。		
<p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には避難所があるところとないところがあり、あるところにはパンフレットが存在することがわかった。 ・外国の人が見てわかりやすいパンフレットを作りたい。 		
○あいさつ	◇次回から原稿を書くことを伝える	

小グループの活用

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

思考を深める学び合い

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	避難所での過ごし方を説明する英文を書くことができる。さらに、友達が書いた英文に修正を加えることができる。
B（合格）	避難所での過ごし方を説明する英文を書くことができる。
C（乗り越えさせたい実態）	避難所での過ごし方を説明する英文が書くことができない。

（5）板書計画

Task 日本語がわからない外国の人に 避難所での過ごし方を伝えるためにパンフレットを作ろう

Today's Goal パンフレットに必要なことを書きだすことができる

Unit Unit 4